

教育改革積極果敢(二)

「教育白書」のとり批判に反論

AB 2000 0051丁

大島文相は十四日の閣議

に、二〇〇〇年度版教育白書「我が国の文教施策」を報告し、了承された。白書は、森内閣が取り組んでいる教育改革の必要性について、「新しい時代に適合し、先取りするよろづな改革を積極と強調、ひとり教育や中高一貫教育、少子化問題などに関する施策を説明している。特に、「学力低下」が指摘されていることに對して、反論している。

また、白書は、家庭や地域社会の「教育力の低下」

に関する施策を説明している。特に、「学力低下」が指摘されていることに對して、反論している。

「その日の化石賞」。前回の第五回締約国会議以来、主要な準備会合でも繰り返され、各國政府の交渉担当者におなじみのイベントと

や深刻化するいじめや不登

校、非行問題などへの対応が必要だとしている。その上、「心の教育」「個性を伸ばし、多様な選択が可能な学校制度の実現」「学校現場の自主性の尊重」「大学改革と研究振興」の四つ

の視点から教育改革を進めている考え方を示した。

冒頭部分で取り上げた「教育改革Q&A」では、十六項目の具体的な施策を説明。ひとりの教育環境における新学習指導要領で授業内容が三割削減されることで、「学力低下」が指摘されていることなどが、反論している。

和夫・地球環境問題等担当大臣は十三日、「日本は厳しい削減目標を受け入れ、十分調査してから、判断してほしい」と反論した。

（本文記事1面）

を持つて練り返し基礎・基

本を確実に身につけることが狙いで、高校卒業段階までの教育水準はこれまで

中した削減される授業内容について、小学校の授業で扱わなくなる台形の面積を測る公式を例にとり、児童が工夫することで計算が

可能などの理由から、「ただ単に公式を暗記するような學習はやめることとしている。中学校の英語で学習する必修の英単語を百語としたところ、総数を九百語としたことを想定した実践的な指導を出

来るもよにした」などとしている。ひとりの教育の実現の一環

少子化が進むことへの影

響について、マイナス面によると、「個性に応じた教育の実現」といったアラス面を

強調。家庭、社会、学校で連携した子育て事業の実現に取り組む姿勢を示した。

二〇〇一年度から完全学

校週五日制が実現される」とを受けて、地域における

こと

として中高一貫教育の推進

を紹介。「ひとりを生がして学校外で実験やボランティアなど体験活動を重視し

た授業が可能」だとし、現

在の十七校を将来的には全

国で五百校程度設置する

ことを目指しているとし

た。

少子化が進むことへの影

響について、マイナス面によ

ると、「個性に応じた教育の実現」といったアラス面を

強調。

家庭、社会、学校で

連携した子育て事業の実

現に取り組む姿勢を示し

た。

二〇〇一年度から完全学

校週五日制が実現される」とを受けて、地域における

こと

として中高一貫教育の推進

を紹介。「ひとりを生がして学校外で実験やボランティアなど体験活動を重視し

た授業が可能」だとし、現

在の十七校を将来的には全

国で五百校程度設置する

ことを目指しているとし

た。

少子化が進むことへの影

響について、マイナス面によ

ると、「個性に応じた教育の実現」といったアラス面を

強調。

家庭、社会、学校で

連携した子育て事業の実

現に取り組む姿勢を示し

た。

少子化が進むことへの影

響について、マイナス面によ

ると、「個性に応じた教育の実現」といったアラス面を